
後ろの正面。

佐藤 秀俊

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
後ろの正面。

【Nコード】
N7530X

【作者名】
佐藤 秀俊

【あらすじ】
なんらかの理由でもう一度生まれたいと思った。人は孤独に勝てないから。。。。

もう一度。違う自分になるために葛藤する一人の淋しい青年。
ただそこにある魂をどう扱うか、そしてなんのために生まれ変わりたいのか？

誰もがもつ憧れは対象の苦しみを省いて見ていることを知る。

とある青年の数分間を切り取った作品です。

（前書き）

心を読みたい。

そう考えたことはありませんか？

「あれ？」

私が起き上がるとそこは見知らぬ場所だった。なぜか頭が重い。

（飲みすぎたのか？）と思ったが飲んだ記憶もない。

その場所はこうだ。

とにかく白い部屋。

そうとにかく。

目立つものはドアノブくらいだ。そこだけが銀色をしていると言っ
くらいの理由で。

そして起き上がると布団も何もないところで寝ていることを知った。

「ねえ？なんで来たの？」

どこからか女の声が聞こえた。知っている。だが思い出せない。

表現出来る」とすると母親と恋人の中間。それくらいの親近感のある
声だ。

透き通っていて思いやりを含んでいて、心配してくれているのかな
ぜか切ない。

あれ？なんで人の想いまで入ってくるんだ？

心配されているなんてこれだけの情報でなんでわかるんだ？

自分の今があまりに不思議で返答をためらっていた。それに声はするが姿は見えない。いや、見せていない。何か理由があつて。それも声に乗っていた。

「あなたに何があるのかしら？これから苦しむのかしら？喜ぶのかしら？でももう普通になんて戻れない。多くの不安が意味もなく見えてしまうんだわ。」

いいえ、意味はあなたが勝手に見つけるのだからそうも言えないのね。」

この感情はなんだ？と思った。

心配？不安？無関心？7：2：1の割合で出来たなんとも言えない親密な他人への想い。

言葉が出ない。

いや、出さなくていいとわかっている。向こうもこちらが理解で来ていることを知っている。いつものコミュニケーションの数倍の情報が入ってくる。

「ここはどこだかわかる？」

そう。ここは生まれる前の場所。ここで自分が何をしたいか決めて生まれに行った場所。

そしてここにいるということはもう一度生まれるということ。

なぜ？

ドアを開ければそこに何があるのかはわからない。

ただ、以前の自分ではなくなることを知っている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7530x/>

後ろの正面。

2011年10月20日02時09分発行